

## 日本原子力学会炉物理部会第 25 回総会議事録

日時：平成 18 年 3 月 24 日（金） 12：00～13：00

場所：日本原子力研究開発機構大洗研究センター核熱利用試験棟 2 階

（日本原子力学会 2006 年春の年会M会場）

配布資料：

1. 炉物理部会第 25 回総会議事案
2. 平成 17 年度炉物理部会収支予算 実績（見込）報告
3. 平成 17 年度～18 年度炉物理部会運営委員
4. 第 25 回日本原子力学会炉物理部会 平成 17 年度活動報告及び審議メモ
5. 炉物理部会 web システムなどについて —報告と依頼—
6. 「部会等運営委員会（平成 17 年度下期分）」のご報告
7. 平成 18 年度炉物理部会収支予算案
8. 炉物理夏期セミナーについて
9. 大強度陽子加速器プロジェクト(J-PARC)の核変換実験施設に対する予備的な研究提案 (Letter of Intent:LOI)の募集案内
10. JAEA-KEK Joint Project on High Intensity Proton Accelerators J-PARC Project Office
11. 核データ部会・炉物理部会の次期合同アクションのための準備委員会の発足について

議事：

・ 17 年度決算報告

小坂委員（財務担当）より、配布資料 2 に基づいて平成 17 年度決算報告があり、了承された。

・ 17 年度編集活動報告

羽様委員（編集担当）より平成 17 年度部会報発行についての報告があった。

・ 17 年度学術研究交流活動報告

松本委員（学術交流担当）より平成 17 年度の日韓サマースクールを 6 部会合同で実施したこと等について報告があった。

・ 17 年度運営委員選出

次期運営委員案について配布資料 3 に基づき山根部会長から説明があり、炉物理委員会担当運営委員についてはとりあえず未定とし、また財務小委員会委員については長家氏に代わり、安藤真樹氏（原子力機構）と修正することで承認された。

（交通機関のトラブルによって到着が遅れた関本新部会長に代わり、この後も山根前部会長が引きつづき議事を進行した。）

・ 炉物理委員会担当運営委員について（配布資料 4）

山根前部会長から、旧原研の炉物理研究委員会が廃止されたことを受けて以下のことが提案され、了承された。

○炉物理研究委員会の担当運営委員を廃止する。

○新しく原子力機構で発足するシグマ委員会担当の運営委員を選出し、シグマ委員会とのリエゾンの役割をしてもらう。

○担当委員はシグマ委員会の原子力機構の委員から選出することとし、平成 18 年度委員については今後決定する。

○今後、個別のテーマ等について検討の必要が生じた場合には個々に対応する。

・部会HPへの名簿掲載について（配布資料 4）

山根前部会長より個人情報保護についての要請が学会事務局よりあった旨説明があり、その後須山委員より配布資料 5 に基づいて以下の説明があり、了承された。

○部会員で部会からのメールを受け取っていない人は担当委員に連絡する。

○アドレス変更は web 上で各自が行う。不明な点がある場合は須山委員に問い合わせる。

○学生会員の関係者（教員等）は可能であれば卒業後の新アドレスを連絡する。

○部会の成果を掲載するページが全く活用されていない。ページの廃止を含め、対策を運営委員会で決める。

○個人情報保護の観点から web での部会員個人名の掲載をやめた。運営上不便であるという意見もあるため、その対策については運営委員会で決める。

・次期代議委員の選出について（配布資料 4）

山根前部会長より、代議委員の選出について、これまでのルールでは不都合が生じたため、部会長、副部会長と相談の上で新ルールを定めたとの報告があり、新ルールが承認された。これにより平成 18 年度代議員は、関本部会長及び山根前部会長を推薦することとなった。

・炉物理部会表彰制度について（配布資料 4）

山根前部会長より、炉物理部会表彰制度について、前回総会から特に意見がなかったのが原案通りに承認することが提案され、了承された。

・フェロー会員の推薦方式について（配布資料 4）

山根前部会長より、フェロー会員の推薦方式について、前回総会以降今回までに寄せられた意見がなかったのが、原案通り承認いただきたいとの提案がなされ、了承された。

・日韓合同セッションについて（配布資料 4）

山根前部会長より、次回日韓合同セッションについて、2006 年 10 月に核データ部会と合同で開催予定であり、今後核データ部会と内容を詰める旨の報告があった。また今後の開催方式については、核データ部会から「炉物理部会、核データ部会、韓国でルールを明確化したい」と提案が来ているとの報告があった。

- ・炉物理部会報の発行方法について

中島委員より、アンケートの結果冊子での部会報配布の希望が 5 件あった旨説明があり、原則として今後部会報は web 公開とし冊子を希望している部会員については編集担当委員が冊子版を作成して送付することが提案され、了承された。これに関連して、web 版では個人情報掲載について注意する必要があるとの意見が出され、編集の際に留意することとした。

- ・部会等運営委員会（平成 17 年度下期分）報告

青木委員より、部会等運営委員会活動について配布資料 6 に基づき報告があった。この中で、現在 3 年任期となっている部会等委員について 2 年任期とする必要があるとの説明があり、部会の運営委員会で対応することとした。

- ・編集委員会報告

中島委員より、1) 編集委員の一部交代について検討中であること、2) 論文誌掲載料見直し、投稿規程の改正（論文と技術報告の区分の廃止）について編集委員会で検討されていること、3) 学会誌をより読みやすくするため、紙面が変わる予定であること、4) 編集委員会推薦により 2 年連続で炉物理分野から学会賞（論文賞）受賞者がでたこと、などについて報告があった。

- ・平成 18 年度予算案について

小坂委員より、配布資料 7 に基づき平成 18 年度予算案について説明があり、了承された。このなかで繰越金は年々減少しており今後何らかの対策が必要である旨指摘があった。

- ・平成 18 年度炉物理夏期セミナーについて

宇根崎氏（三澤委員代理）より配布資料 8 に基づき来年度の炉物理夏期セミナーの開催日、場所等について説明があった。テーマとしては「燃焼」を中心に考えているが、もし取り上げてほしいテーマがあったら連絡してほしいとの要請があった。

- ・J-PARC 研究提案について

辻氏より配布資料 9、10 に基づき J-PARC の予備的な研究提案の募集について説明があり、広く提案を寄せてほしいとの要請があった。

- ・懇親会について

伊藤委員より、本学会会期中に開催予定の炉物理部会懇親会について説明と参加者の追加募集に関する案内があった。

- ・核データ部会・炉物理部会の次期合同アクションのための準備委員会の発足について

石川氏より、表記の件について配布資料 11 に基づき説明があり、1) 表記準備委員会を立ち上げること、2) 提案するテーマは準備委員会で検討を行うこと、3) 準備委員のメンバーはメールで募集すること、4) 最低 1 回は会合を開くこと、5) 最終的に研究専門委員会設置の提案を目標とすること等について説明があり、本取り組みを炉物理部会として承認することが提案され、こ

れを了承した。

- ・新部会長挨拶

関本新部会長より挨拶があり、今後の活動について長期的展望に立った提案があったら是非寄せてもらいたい旨要請があった。

以上